

# 1. 環境学習コーディネート実施概要 (Web 掲載)

依頼No	6	事例No	5	依頼者	大府市協働推進課北山公民館	実施場所	大府市協働推進課北山公民館
実施対象	小学1年生～6年生 13名 (北山公民館講座エコキッズ参加者)						
実施日時	令和4年8月3日(水) 9時30分～10時30分						
テーマ	クイズで学ぶ環境講座						

## ●依頼内容

クイズで学ぶ環境学習講座の講師を紹介してほしい。

## ●講師：村瀬政彦 氏 (環境カウンセラー、愛知県地球温暖化防止活動推進員)

村瀬政彦氏は、ごみ・資源循環・3R、エネルギー問題などを専門とされ、愛知県地球温暖化防止活動推進員であるとともに、「あいち地球温暖化対策人材登録・紹介ネット(温暖化まなびネット)」にも登録されている。

## ●授業の内容

クイズで学ぶ地球環境問題	講師の紹介後、「ストップ! おんだんか」の演題で授業が行われた。地球は40億年以上の歴史を有し、様々な生物が関わり合って暮らしているが、人間が自己中心的な生活を行ったことにより様々な環境問題が生じていることが説明された。環境問題の中から地球温暖化に焦点をあて、クイズを交えながら、温暖化の原因や影響について説明が行われた。また、現代の便利な暮らしは化石燃料を中心とするエネルギーによって支えられているが、そのエネルギー使用時に発生するCO <sub>2</sub> が地球温暖化の原因であること、温暖化を止めるためには省エネへの取り組みが必要であることが説明された。最後に、地球温暖化を予測した眞鍋淑郎さんが、昨年ノーベル賞を受賞されたことや地球にやさしくするための取り組みとしてSDGs(17の目標)が紹介され、みんなで地球温暖化を止めるために、省エネに取り組んでいこうと呼びかけがされた。	60分
CO <sub>2</sub> の性質を学ぶ実験	はじめに、石灰水の入ったビーカーにガスボンベを使ってCO <sub>2</sub> を入れ、石灰水はCO <sub>2</sub> が溶けると白濁することを確認した。次に、石灰水の入ったビーカーに息を吹き入れると、石灰水が白濁したことから、呼気にCO <sub>2</sub> が含まれていることを確認した。さらに、同様のビーカーに、火のついたろうそくを入れて蓋をし、火が消えた後、ビーカーを揺らすと石灰水が白濁したことから、物が燃えるとCO <sub>2</sub> が発生することを確認できた。	

## ●授業の様子

授業は、小学校1年生～6年生までの13名が参加した。低学年の児童にとっては、難しい内容も含まれていたため、講師は言葉を選びながら、地球温暖化問題について説明を行っていた。子どもたちは、CO<sub>2</sub>を使った実験を見たり、講師の説明を聞いたりしていた。また、「2050年の東京の最高気温は何度になると予測されているか?」、「エアコンやテレビ、照明にはどんなエネルギーを使っているか?」、「世界の年平均気温は何℃上昇しているか?」といったクイズに答えながら、温暖化について楽しく学んでいた。

パワーポイントを使って地球温暖化について学んだ。



実験を通して温暖化の主原因であるCO<sub>2</sub>の発生について学んだ。

